

医療的ケアの基礎Ⅱ

担当教員 吉岡 久美

配当年次 4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

介護福祉士に求められる医療的ケアに関する基本を理解する。

到達目標：「喀痰吸引」の実施手順が説明できる。栄養の必要性が説明できる。「経管栄養」の必要性が説明できる。

【授業の展開計画】

【科目担当者：吉岡 実務経験】

大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員（高齢者科目担当）他

週	授 業 の 内 容
1	喀痰吸引の必要性を振り返り、実施の留意点と急変・事故時の対応、人工呼吸器について知る
2	喀痰吸引で使用する機材とその消毒を含めた取扱いを理解する
3	吸引の物品準備、利用者への説明と事前準備から片づけまでが説明できるようになる
4	吸引に伴うケア、医療職への報告、記録の意義と書き方を理解する
5	消化器系のしくみと働きの理解を深める
6	消化・吸収のしくみを振り返り、消化器症状、経管栄養が必要な状態を理解する
7	経管栄養のしくみと注入内容に関する知識を得る
8	経管栄養実施上の留意点を学び、子供の経管栄養について理解する
9	経管栄養に関する感染とその予防方法、利用者・家族の気持ちを理解した説明と同意を考える
10	経管栄養による危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策を知る
11	経管栄養実施手順の理解～経管栄養に必要な器材と清潔保持を理解する
12	経管栄養の物品準備、利用者への説明と事前準備から片づけまでが説明できるようになる
13	経管栄養を受ける利用者のプライバシーを考える 消化機能を促進するケアを理解する
14	経管栄養に必要なケア（体位、口腔、鼻腔、胃瘻部の確認等）の理解を深める
15	医療職への報告、連絡、記録について理解する

【履修上の注意事項】

講義内ではディスカッションを取り入れるため、参加的態度でのぞむこと。

事前学習として、次回の単元に関するテキストを熟読しておくこと。

事後学習では、講義のノートをまとめなおし、関連科目の復習も添えておくこと。

事前事後学習として90分

【評価方法】

原則として筆記試験60%、ディスカッション参加・小レポート40%を評価対象とする

レポートについてはコメントを入れて返却する

【テキスト】

最新介護福祉全書13 医療的ケア (メヂカルフレンド社)

【参考文献】

介護職員等のための医療的ケア 公益財団法人日本訪問看護財団編 ミネルヴァ書房 最新版